

私学の学費も無償に！ すべての私学が発展出来る私学助成を！
誰もが私学に通える私学助成を！

第13号

2020年12月9日(水)

発行: 神奈川私学職員組合連合
横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館

<http://www.k-sikyoren.or.jp>

TEL 045-212-5571 FAX 045-212-5575

2020
速報

神奈川私教連

コロナ禍の中、今こそ神奈川の教育予算増額を!!

12・2 教育署名提出集會に11万1165筆を集約

12月2日(水曜日)、神奈川県議会大会議室にてかながわ教育署名提出集會が開催されました。この集會に先立ち、午前中に各会派への紹介議員の依頼と要請行動が取りまとめられました。この要請の中では、神奈川ネットワーク運動と日本共産党が紹介議員を引きつけてくれました。紹介議員を引き受けなかった会派でも、懇談の中で「地元の湯河原では静岡の私立高校に進学した生徒の保護者が、国からの就学支援金しか受けられない」(自民党)、「東京の私学に通う生徒の保護者が国からの就学支援金しか受けられないのはなぜだと言われている」(公明党)など、私学助成と学費補助拡充の必要性に共感する声が聞かれました。他方で、「団会議では紹介議員になるべきとの議論もあったが、コロナ禍対策を厳しい予算の中で優先しているのだから、請願のすべての項目に縛られることはできないので紹介議員はうけられない」(立憲民主党)、「共産党が紹介議員になったら一緒にできない」(県政会)など、疑問を持たざるを得ない反応の会派もありました。

午後1時からの集會には、コロナ禍の中、各団体・分野からの代表者24名が参加して、今年の取り組みを報告。その間にも署名が集められ、私学助成8万2千余、障害児教育1万2千余、新婦人1万余など、合計11万1165筆の署名が積み上げられました。県議会の休憩時間に会場を訪れた議会局長に、旭丘高校生徒会の高校生を最初にそれぞれの団体から署名が手渡されました。さらに、紹介議員を引き受けた会派のうち日本共産党議員団が挨拶されました。



神奈川県議会提出署名	
2020年12月2日(水)	
合計	111,165
◇ゆきとどいた障害児教育をすすめる 神奈川県民の会(神障教組)	12,013
◇子どもと教育・暮らしを守る 神奈川県教職員連絡協議会	1,372
◇新日本婦人の会神奈川県本部	10,167
◇神奈川私学助成をすすめる会 (神奈川私教連/神奈川父母懇談会/幼稚園支部)	82,169
◇30人学級をめざす鎌倉の会	660
◇30人学級を実現させる藤沢の会	3,004
◇高校連絡会	1,780

私学助成署名 12月3日

8万6410筆を県に提出

提出集會の翌日、12月3日(木曜日)夕刻に県議会への私学助成拡充を求める署名の提出が行われました。提出ぎりぎりまで、待機した県庁新庁舎ロビーに旭丘高校や桐蔭学園、神奈川土建から署名が届けられ、この日の提出署名数は8万6410筆と前日より約4千筆を積み増しました。

県議会では厚生常任委員会では審査が行われ、10日の口頭陳情(説明)が委員会で認められれば、12月14日・月曜日の厚生常任委員会の冒頭に陳情

趣旨の説明を行う予定です。みなさんと共に今後の県議会での署名への審議に注目していきましょう。

また、国向け署名は、12月11日に全国からの代表者による院内集會で集約が行われますが、最終集約は年をまたいだ2月半ばとなります。各学園で遅れて届いた署名用紙は、一枚も無駄にすることなしに、書記局に送って下さい。

11・29 学費ホットライン第二弾も大盛況

11月29日(日)午後実施された「学費ホットライン」の第二段。前日までも電話での問い合わせがあり、今回も18件の相談で大盛況となりました。特徴としては、今回も「学校で案内のチラシをもらった」と公立中学校で案内を印刷して配ってくれた学校が多かったことです。公立中学の先生には、学費補助の仕組みや様々な制度が複雑で理解しにくいことに加えて、今年は「私学展」も中止となったこと、さらにはコロナ禍で経済的にも不安が広がっていることが背景にあると思われます。

ここでよせられた声も、私学振興課要請の中で県に伝え、さらなる制度の拡充を求める県民の切実な声として受け止める様に求めていきたいと考えています。

冬の私学振興課要請 12/22 開催…今年は代表のみに

県の来年度予算案作成の大詰めを迎える中で、毎年12月の県議会閉会後にかながわ私学助成をすすめる会と「私学振興課との懇談」が行われてきました。今年も通常通りの開催を申し入れましたが、私学振興課からは「コロナ禍対策の観点から人数を絞って実施してほしい」との姿勢が示されました。この要請は、教職員だけでなく、多くの父母が参加して要請する事がとても大切ですので、できるだけ人数枠を増やすことを求めました。その結果、12月22日・火曜日 17時から私学振興課の会議室にて限られた人数での要請として実施されることになりました。

多くの学園からの声を直接に伝えられないことは不本意ですが、充実した中身の要請と懇談が行える様に、取り組んでいきたいと思ひます。